

学びっこ通信



発行：栄小学校学力向上チーム

令和3年7月7日



家読(うちどく)のすすめ

家読(うちどく)とは…

「家読(うちどく)」は、「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的にした読書運動です。「家読(うちどく)」運動は学校の「朝の読書」運動の家庭版として2006年に提唱されました。ゲームやインターネット、スマホへと子どもたちを取り巻くメディア環境が著しく変化し、メディアにさらされる時間が増えた子どもたちの心は不安定な状態になったり、家族との会話が少なくなったという現代の社会的問題を、読書という方法で和やかな家庭環境をつくり、家族のコミュニケーションを図ることで「家族の絆」を深めることへの提案型読書運動です。

読む本は自由ですが、「絵本」をおすすめします。絵本ならば短時間で家族全員が読むことができ、絵の印象や物語の感想など、語り合う話題に多様性があります。

栄小学校でも読書に取り組んでいます。学校で読んでいた本の続きでもかまいません。「本を家族みんなで楽しむ」・・・それが「家読」とも言えます。夜のひとときを共に【本を読む】穏やかで静かな時間をもってみてはいかがでしょうか？

★
..... 「うちどく(家読)」の基本のき

「うちどく(家読)」の約束

- 1 同じ本を読もう！
- 2 読んだ本で話そう！
- 3 感想ノートをつくろう！
- 4 自分のペースで読もう！
- 5 家庭文庫をつくろう！

通し番号を記入しましょう。この数字が家族みんなで読んだ本の冊数になります。個人の読んだ冊数を記録するページ(うちどくラリー)もあります。

1 読んだ人 読み終えた日 年 月 日

本のタイトル

コメント

タイトルと一緒に著者(本を書いた人)の名前も書いておくとう便利です。

おすすめ度 ☆☆☆☆☆

どのくらいおもしろかったか、家族や子どもたちにすすめたいかなどで星をつけてみましょう。5つ星が最高点です。

裏面の表は【株式会社 トーハン：書籍、雑誌、教科書、出版物販売】が推進している【家族の新しい読書の習慣ー「うちどく」のすすめ】にある『うちどくノート』です。使いやすいと思い引用しました。

株式会社 トーハンは、社会事業として学校の「朝の読書」活動も推進しています。学校の「朝の読書」活動「みんなでやる」「毎日やる」「好きな本でよい」「ただ読むだけ」を原則とした感想文や評価のない自由な読書活動です。特に児童も教師もいっしょに「みんなでやる」ことが一番大事です。

家読も、家族でいっしょに「たのしくよむ」ことをおすすめします。

「うちどくラリー」には家族それぞれが読んだ冊数を記録しましょう。

まず、家族の名前と冊数を記入しましょう。1ページにひとり10冊まで記入できます。

うちどくラリー(個人の記録)

名前	冊数	1	2	3	4	5
おとうさん	1/3	1/21	2/4			
おかあさん	1/6	1/15	1/28	2/15		
けんた	1/7	1/18	1/31	2/12	2/25	
はな	1/3	1/8	1/25	2/10		

読み終えた日にちを記録していけば、自分のペースがわかります。

読んだ人

読み終わった日

年 月 日

本のタイトル

コメント

おすすめ度 ☆☆☆☆☆



読んだ人

読み終えた日

年 月 日

本のタイトル

コメント

おすすめ度 ☆☆☆☆☆

[illegible]